

小島 育友会報

発行・育友会
編集・文化部

あ い さ つ

育友会長 本田 卷 男

歴史と伝統にかけやく三小育友会員の役目をとおせ、かゝる光
榮に存じます。新年前副会長を二昨年からの常任委員としてとめ
ましていただき、いくらか育友会のことなり学校によつては存
おけておるとは思いますが、会長としては河分高が重過ぎ、
果たして会費皆様の御期待に副えるかどうかと大変心配して
おります。

三小は歴代の会長さん方が終
始熱心に会のため御努力下さい
ました結果大いに発展し、多く
の事情をのこされております。
また校長先生始め諸先生方が
一心同体となつて子どもたち
の教育に、また教員の作成など
日夜御精勵下さつており、その
成果は皆さん御承知のように原
下でも高く評価されてゐるもの
と信じます。このように世間が

立派な学校として認められて
いるのですし、二二まで築きあ
げられた学校および育友会をよ
り二層内容の充実した中味のあ
るものに育てあげ、協力しなけ
ればならぬと思ひます。

ますし、こうしてことが学校や
育友会の内容を充実させ、本当
の子どもたちのしあわせを計る
ことと一致するものと思ひます。

学校だより

学習向上をめざして

1. 朝自習時間の新設

朝掃除がすんだら十分間、
全校いっせいに自習時間です。
わずか十分間ではありますが、
本を読んだり、国語の算数の
練習問題をやったり、軌道に
のつたように思ひます。

2. 放課後の指導

水曜日の放課後は、各学級
で遅れた子ども、遅れていな
い子どもに対しても特別指導
をしています。毎日でもこう
したいのですが、月曜日は児
童会、火曜日は教師お互いの
授業研究や職員会、木曜日は
市内全体の研究や会合や校内
の奉仕部活動、金曜日は同学
年の数研研究日といつたぐあ
いであつた日がありません。

水曜日だけは子ども取り組
まれる唯一の日です。これも
学力の向上のため効果がある
と思つています。

3. 学習のしおり

自分が自分で苦勞して勉強

会員の御協力、御指導を頼んで
御協力と御指導を頼んで
みません。

みのり多い年

施設部

本年度施設部の事業として取
り上げられましたものゝうち、
次のようなものが工事の完了を
みました。

○第一校舎雨漏り工事が六月中
旬完了。

○天井塗装も六月中旬完了。

○第二校舎の全面的な電気配
線と各教室に四燈ぶつての蛍光
燈取付け工事が六月下旬完了。

○体育倉庫の屋根の張りかえ
が六月下旬に完了しました。

これは本年度はたかめと願
ておりましたが、施設部の方
の御努力によつてできあがり
ました。ありがたうございま
した。これで十五年間は心配
ありません。

○危険窓枠の修理も夏休み中
には廻工の手定と聞いており
ます。

暑中

お伺い

いたします

研修旅行記

全般についての報告

(アンケート結果の報告も兼ねて)

文化部長

一、研修旅行のあらまし
今年も例年のように研修旅行をやることに決まり、日時場所等の決定もめて、文化部で具体的な計画をたてて、左記のように実施しました。

(一) 日時、六月十日(木)午前七時出発、午後六時帰着

(二) 場所(および視察目標)
長崎市 天上小学校
(子供会活動)
城山小学校
(特殊学校)

(三) その他、テパート、市内見学(自由)

日本美術展見学
水族館見学、遊りん

二、研修旅行に対するアンケート結果について

今年の旅行に参加された、浦田上の馬場芳光さんから、参加者にアンケートを行ない、参考にしたところ、上の大へる有益な御提案をいただき、早速実行しましたところ、参加者九七

名のうち五四名の回答をいただきました。それによると、
(一) 今年の研修旅行について場所や、視察日程、その他の見学、経費などについて、一・二の意見のほか、大多数の方が「よかった」との意見でした。へ車中でのリフレッシュンについては一・二名の方が、「よくなかった」との意見で、その多くは「帰りの車中ではもっとくつろがせてもらいたい」ということのように、係として大いに反省させられました。
(二) 来年度の研修旅行についてへ来年もや。だがよいとい意見がほとんど全員の方から出ていました。
へ時期は六月一―五、五月二十名、五―六月五名、その他八名で、五・六月が圧倒的に多数でした。

という御意見のよかったです。
へ視察目標は学習園二六、PTA活動二六、施設一四、校外生活一四、その他八、でした。へその他の見学は名所旧跡二五、工場施設二一、展覧会等一五、その他五、でした。へ車中ではどんなことをやらうかについては、リフレッシュ的なもの二五、研究的なもの四でしたが、質問とは別に、意見として、「行きには研修的な学校の説明などで、帰りにリフレッシュ的なものをちょっとほいほい」というのが六ほどあり、注目すべきものだと思われました。
(三) その他研修旅行の学校別の報告は左記に、行なわれますが、研修旅行全般について、または学校別について、アンケートについてのくわしい記録が育友会文庫の中に保存してありますので、関心をお持ちの方は、こちらになって利用して下さい。
へ経費は二〇〇―三〇〇円が三一五、三〇〇―四〇〇円が三

校門を入ると、すぐ腕に鳩を乗せた「平和の像」が立っている。新聞などで何回も見ている有名な銅像であるが、直視目にするのは初めてであった。
戦後建てられた三階建コンクリートの校舎は、資材の乏しい時代に造られたためか、かなり古びた感じで、三小の校舎に似ているように見受けられた。全体の規模も三小程度ではないだろうか。
発展を続ける長崎市のうちでも、最も人口増加率の大きいといわれる浦上地区の中心に位置する環境のせいか、授業中の教室のぞくと、生徒達の表情も生々として快活な感じを受ける。国際都市らしく、碧眼紅毛の子供も混って、何國人だろうかと、日本人としての籍があるのだろうか、などの好奇心もわいてくる。

私たちが主に特殊学級の見学をさせてもらったのだが、A・Bの二教室に分けられ、A・B又は知能程度のきわめて低い子供達が九名、Bクラスは比較的軽度のもの十四名が、それぞれ担当の先生の真剣な指導を受けていた。
知能の低い不幸な子供達を、普通並みにひとり立ちのさせる人間にしよう、少なくとも家族なり社会の抱きかかってくれるだけ小さいものにしてしまうと、深い愛情をもって、ねばり強く指導されている先生方の努力に対しては、見学者一同強い感銘を受けました。
子供達が意外に明るい表情であり、また喜んで学校に来るとの話に、特殊学級の効果というもの改めて認識させられた。帰りのバスの中で、一父兄の「入ことではない、自分の子供があのような立場にあると考えると、不幸な子供、その家族の方々の苦労に対しても、お互いできるだけの協力をしなければ」との感想に、一同深く同感していた。

天上小について

松村 翠

一、学校のあらまし
長崎市の東玄関、天上の国道から山手の旧道沿いに建っており、明治七年創立というから、三小と同じく九十周年になる。本校の他に分校が二つあり、全児童数は一〇八九名、二三学級、先生は三二名とのこと。父母の大半(四七・五%)は農業で、その他公務員、会社員、商店となっている。
特色としては「子供会の活動」が盛んで、私たちが視察

城山小について

文化部長 榎島 毅

原爆の中心地に近い高台にある城山小学校に、石段を登って

の活動、施設等には特に見られた。また、会長や役員の熱意と活動には心から敬服した。

二、子供会の活動について

昭和二十四年に発足し、二十八年頃より特に活発に活動するようになったことだが、組織としては、町内十六の地区ごと、小中学生をきめて結成、更に各地区を幾つかの小班に分けて組織している。地区の会長や幹部は主に中学二年生がなり

班長には小学校の上級生も多い。毎月第一土曜の午後、または夜約二時間ほど、地区公民館または家庭を借りて会合を開き、報告や話し合いを行なっている。会合は子供たちの自主的運営に任せられ、大人は後で感想をのべるだけのことである。

行動の主なものとしては、各地区ごとに、月別の計画を立ててやっているが、その他に全体的な行事としては、「子ども会の遠足があり、その時には必ず自宅で作った日の丸弁当を持って行くことになっている。」

また、学校の付近は、交通がみんばんで事故も多いので、父母、学校が協力して、交通安全をはかるとともに、強制的に子ども会の「集団登校」をやっている。

いる。

父母は、子ども会の育成と協力のために、地区ごとに、役員その他に、補導員を設け、指導と援助を行なっている。そして、これら指導者のために、毎年、役員一回、補導員四回の研修を行なっているとのことであった。

城山小学校の

特殊教育を

参観して

江崎達子

城山小学校は、ちようど三小のように高台にあり、三小よりも急な階段を登って玄関を通り校舎にはいると、同じ鉄筋コンクリートでも、床が板張りのせいか、清潔な暖かい感じで、校舎全体が校に比べて、あまり年代は変わらないようですが、規模が少しは大きいように思われました。

特殊教育について、校長先生、担任の先生よりいろいろ話を聞いた。お話があり、やはり先進校だけに、重症、軽症の二組に分けてあり、適切な理想的な指導が行なわれているようでした。

お話、質問が終わり、教室へ案内されて、その授業の様子を見学し、やはり、「軽症の組と重症の組に大分のひらきを感じられ、こうでなければ本当の意味での指導は行なわれにくいのではないか。島原でも漸次このような方向にむけて行くべきだと強く感じたものです。」

重症の組の二ママの子どもを眺めていると、いつの間にか涙がにじみ出さうで、わが子にひきくらべて、目から感謝の念がわがずにはおれませんでした。

城山小学校の

特殊学級を

見学して

入嶋明

馬場良龜

1. A級の子どもを見て、優劣も本当に不運と思った。

2. B級の子どもを見て、驚見発表の意欲があり、程度は低いながらも進歩し、また適得しつつあることは、子どもにとって大きな効果と思った。

3. 先生の話を聞いて、家庭と教師との連絡が、どれほど大切であるかを痛感した。

4. 願えば、月に一回程度の連絡簿等作ってもいい、指導していた方がいい、一般学級もまた良くなるのではないだろうか。それには、特殊学級の父兄にある、何が何でも習得させたい気持と、先生の

一つでも良い、一字でも良い教えこみたい意欲とが一致してあの効果ですので、一般父兄の認識が必要であります。それは一つに、PTAの活動にあると思います。

5. 児童の心理について、両親のいうことより、学校の先生の方が効果あることに、

今一度認識を新たにしました。とともに、家庭における指導に大きな指示を受けた感じがいたしました。

自主自営の精神育成のむずかしさを感じました。

5. 最後に、今日見学した児童は一部であって、また多くの児童が居るものと思いますが、社会福祉国家の名に恥じないよう、設備設置に、われわれPTAが一致団結、全国的な運動までもって行き、たとえ十年たっても目的完成のため不幸な日陰の人々のため、努力すべきであると思えます。



生活指導部

池田 真

専門部の最も重大な生活指導部の仕事を仰せつがって責務を痛感する次第です。

孟母の三遷の教えのごとく、環境の力、社会の感化力の偉大さを知るのですが、われわれ庶民のためやすく住居をしばしば変換することはできません。どうすれば環境をよくし、子どもたちが幸福に暮らすことができるかが、生活部の大いなる仕事の一つであります。

可愛い子どもさん方の学生生活中、朝は八時より午後の四時までの八時間、その外の十六時間はいかなる家庭なり、社会なりでの校外生活です。日曜、休暇は入れなくても倍の時間が校外生活で、その時間内はこれまた生活部の仕事になるのであります。

子どもは学校に出してあげればよい、学校任せの今までの考え方は、余りにもかわいそうです。はありませぬか。

学校の教育方針に基づき、本年度の努力目標です。学習意欲の向上、正しい言葉づかい、健康を主とする、奉仕の精神の樹立

等の実現には、本年度は子ども会の育成を計り、暖かいいっしょのあたたか家庭教育と、家庭ではできない、組織の力のできる事がたくさんあるものです。幸い、元舟車の子も会は原下でも最も優秀で、また指導者



会

員

の

声

町内の話し合いの場所を出た意見です

正しい言葉づかいについて

○父親——カードを取られる

「悪いことは」の範囲次第では、子どもに悪い影響も出てくる面もあるのではないかと心配しています。

▲養育費について

○母親——仕事の都合上、今まで一度も養育費に行かれず、今学期から行って

あまり厳しくするものも

の方でも確感音でありますのでこれをモデルケースとし、各町内に適応した計画を立案していただき、常時活動の間に一人でも多くの子どもさんがしあわせになるよう奮闘するものです。ところがこれがためには家庭におかれては父母や家人の方々の理解と学校の先生方の生活指導員と町内代議員および生活指導員並びに町内一般の方々のためまざる御協力と御禮度をお願いいたします。

るが、子どもがうしろばかり気にして、先生の問にも答えがでないありさまを見て、恥をかきばかりだと、六月は行かなかった。

○母親——嬉しくてたまらないからだと思ふ。そこをのりこえて、慣れさせ、また親も恥ずかしいなどと思わず続けて行き、勉強してもらえは、きつとよい結果が生まれるでしょう。

▲交通道徳について
○大人は子どもに負けています。よい手本を示そうではありませんか。

▲研修旅行について
○はじめて参加したが、大人へも勉強になった。改めて三小を見学し、理解を深めたいと思ふ。

○事前に視察校の三小について研修しておきたかった。行きの中話をするなりガリ版すりの説明など作ってもらいたい。

○もっと研修も見学本位にやってもいい。

○話しを聞くだけでなく、実際の活動ぶりも見せたい。また、(矢上校視察者)の名所見学等のほかに、今年度の古美術展見学は変わった試みとして自慢感をもった。また、水族館見学も楽しかった。



ガリ版
入船町市住吉号
東 村 進